

令和元年度栃木市スポーツ推進審議会第1回会議録

日時：令和元年7月31日（水）午後1時30分

場所：栃木市総合体育館 2階 会議室

1 本審議会の出席委員は、次のとおりである。

猿山美代子会長、高尾良英副会長、茅島有子委員、伊藤良子委員、川津正夫委員、
嶋田安治委員、三柴 茂委員、溝井代次委員、衣川 隆委員、阿部悦子委員

2 本審議会の欠席委員は、次のとおりである。

小笠原義仁委員、神澤 享委員

3 本審議会の出席事務局職員は、次のとおりである。

生涯学習部長 鶴飼信行

スポーツ振興課長 飯島正則

スポーツ振興課長補佐兼スポーツ振興係長 上岡 豊

スポーツ振興課副主幹兼大平スポーツ振興係長 関根和彦

スポーツ振興課副主幹兼藤岡スポーツ振興係長 糸谷昌訓

スポーツ振興課副主幹兼都賀スポーツ振興係長 中島茂晴

スポーツ振興課長補佐兼西方スポーツ振興係長 中野内重雄

スポーツ振興課岩舟スポーツ振興係長 大竹秀作

《会議》

1. 開 会 午後1時30分

事務局より、本日の審議会について、委員12名中10名の出席であり、出席者が過半数を超えていることから本審議会が成立すること、会議は公開で行うため傍聴席を用意していること、また会議内容についてはホームページで公開することを伝える。

2. 内 容

栃木市スポーツ推進審議会条例第7条により、猿山会長が議長となる。

(1) 栃木市スポーツマスタープラン改訂版の策定について（事務局説明）

資料 ・栃木市スポーツマスタープラン改訂版作業用資料

議 長 本日は栃木市スポーツマスタープランの前半部分の審議になる。事務局案を挙げるのでその後に気になった場所について意見が欲しい。

はじめに前回の審議会が高尾副会長よりマスタープランの基本方針8項目について、それぞれどのくらいの予算配分がされているのかという質問があった。本件について事務局の回答をお願いしたい。

課 長 全体の予算の中で、どこに重点的に使われているのか数値として記載してほしいという意見だったかと思うが、事業の重要さとそれにかかる費用が比例するものではなく、予算額等費用を載せることにより、その金額だけで事業が重要であると読み違いする方も出てくるのではという懸念があることと、本市の上位計画である総合計画、教育計画でも費用の表記を行っていないことから同じく費用の表記を行わないという判断をさせていただきたいので、ご理解頂きたい。

委員A 事情はよくわかった。了解した。

部長 生涯学習の分野は予算が少なくともマンパワーだけで非常に重要な事業をやっている部署が多いのが実情である。

議長 示せるところは示してもらおうという事で対応してほしい。

事務局 これから「1プランの策定にあたって」と「2栃木市のスポーツを取り巻く環境」まで事務局案を提示する。それより後は10月頃に実施する第2回の審議会で行います。

－「栃木市スポーツマスタープラン改訂版作成作業」について説明－

追加の事項として施設の現状の把握、見直しについて、スポーツ庁から昨年スポーツ施設のストック適正化ガイドラインが示され、2020年来年までに自治体ではスポーツ施設の適正化計画を推し進めることという指示がなされており、これに対応する項目を「3スポーツ推進の基本的な考え方」の次に展開することを考えております。

議長 それではページを何回か区切りながら進めていきます。

事務局 「はじめに」及び「目次」については省きます。以降変更点のみ説明します。

「1-1プランの背景と目的」について、年号は5月1日以降令和で統一。栃木国体の名称は募集で決まった愛称「いちご一会とちぎ国体」に変更。上位計画である栃木県スポーツ振興プラン21が「栃木県スポーツ推進計画2020」に変更となり、本計画でも表記を変更する。「1-2プランの位置づけ」「1-3プランの計画期間」の修正も「1-1」の修正と同様とする。

議長 ただいまの説明内容でなにか質問等がありますか。無いようなので続いて「2-1全国的なスポーツ関連潮流の変化や動向」について事務局よりお願いします。

事務局 「4健康志向の高まり」中のメタボリックシンドロームの人数を最新のデータを確認し2,000万人の数値を使うことにしました。審議頂きたいのがその下部の有酸素運動の次、「軽い水泳」の部分「軽い」は必要かどうかという部分です。「5高度情報化社会への対応」では現状を鑑み、パソコン、タブレット型端末やスマートフォンに変更、また数値は最新のものに、携帯電話という単語はスマートフォンに置き換えました。「6男女共同参画の推進」、最新だと男女共同参画基本計画は第4次となったのでこれに合わせて内容を修正し、「7ノーマライゼーション社会の実現」こちらも障害者基本計画の第4次が策定されており、その中でパラリンピックに言及されているところがあるので追加修正しました。「9東京オリンピック・パラリンピックなどの開催」この部分に関しては年号と国体の表記修正し、「本市においても」の部分、『いちご一会とちぎ国体においては本市においてもボート、ハンドボール、カヌー（スプリント）、なぎなたの4つの正式競技とラグビー、フットベースボールの2つのデモンストレーション競技が予定される』の表記に改めたいと思います。「10スポーツ組織の改革」日本体育協会は日本スポーツ協会に名称が改められたので修正するほかそれ以外に細かい文言を修正しました。

議長 ただ今の説明で「有酸素運動や軽い水泳～」の部分はどうするか。意見ありましたらお願いします。

委員A 「ウォーキング、散歩、水泳」と並べて「手軽にできる有酸素運動が行われています。」でしめるのはどうだろうか。「軽い」の表記は不要。

委員B その前のウォーキングと散歩はどう違うのか。

委員A 「ウォーキングや水泳」でも構わないが厚生労働省の考えだと運動の中には「散歩」も入っていた気がする。

議長 散歩を入れる方向で「ウォーキングや散歩、水泳などの有酸素運動が行われています。」で異論はないか。

－評議員より異論なし－

議長 次にインターネットを別の文言に置き換えることについて。

委員C 「インターネットが利用できる電子機器」とかではどうか。

部長 ICT（情報通信技術）という単語を使っただけではいかかが。文章の一行目で「インターネットなどICT（情報通信技術）の急速な～」として、下の記載では「ICTを通じて～」を使うのはいかかが。

議長 単語の説明は文章の一行目で行っているのだからその後はICTで問題ないという事ですね。この件について皆さんいかがでしょうか。

－評議員より異論なし－

委員D 「4健康志向の高まり」の中でメタボリックシンドロームを「強く疑われる者」という表記があるが、この「強く」の部分は必要なのか。「疑われる者」で十分ではないか。

事務局 引用元が使っている表現だが違和感があるというなら抜いてしまっても特に問題ない。

議長 では「強く」は削除でよろしいか。

－評議員より異議なし－

他に、ここまででの意見はどうか。とちぎ国体のところで実際に種目を挙げたのはいい案だと

思う。他に何も無いようなので続いて、「2-2 栃木市のスポーツの現状と課題」について説明をお願いしたい。

事務局 数値等の変更になります。大皆川ニュースポーツ広場について、当時はターゲットバードゴルフの利用という事で表記していましたが水害被災後未復旧ということでこのように書かせて頂きました。実際この表記を入れるかどうかをご審議頂きたい。「(2) 公共スポーツ施設の概要」で大平南体育館にはトレーニング室があったが今は使えないということで○を削除し、屋外施設では、大皆川ニュースポーツ広場のターゲットバードゴルフの削除と岩舟総合運動公園のターゲットバードゴルフを追加しました。「(3) 公共スポーツ施設の利用状況」これについてはデータを直近の平成30年度のものに入れ替えています。ターゲットバードゴルフ場についてはこれまでなかったので項目を追加しました。「(1) 栃木市体育協会専門部の状況」は、これも平成30年度のデータに入れ替えました。なお、ここでは表で記載されているがマスタープランの本編の方では人数はグラフ化しています。「(2) 総合型地域スポーツクラブの状況」では、「マイタウン皆川スポーツクラブ」が解体となったための修正です。「(3) 栃木市スポーツ少年団の状況」では卓球の団体がなくなり、新たに陸上団体が出来たので表を差し替えました。「(4) スポーツイベントの開催状況」表のデータは平成30年度の最新版で、数値を反映したものを文章にしています。「(5) スポーツ教室の開催状況」表は平成30年度のデータに変更しました。続いて「2-2-2 スポーツに関する市民意識」は、改めてアンケートを行わないのでこのデータをそのまま適用します。「2-2-3 スポーツ推進に向けた課題」は、当初のマスタープランの課題8つをそのままとします。8つの課題の中で表記的に新しいものに改めたいところが「4 トップレベルの大会を見据えた競技・プロスポーツの推進」の文章で「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会」の部分を「いちご一会とちぎ国体」「いちご一会とちぎ大会(全国障害者スポーツ大会)」に変更し、「(5) 活躍するスポーツ選手」では直近3年間の新しい選手を加えました。

議長 ご意見質問等お願いします。

委員E 大皆川のニュースポーツ広場が未復旧という表記になっているが今後の復旧予定はあるのか。

課長 現場の状況を見てもらえるとわかるのですが、水害後は手を付けられないくらい荒れようで復旧困難であります。市からもニュースポーツ広場に予算を割くことは難しいとされました。来年度までにスポーツ施設のストック適正化計画を作成するようにとスポーツ庁から話が出ている。これは、市のスポーツ施設をどのように運営していくかというもので、ニュースポーツ広場に限らず手に余るような施設は廃止して行くような方向であります。施設自体は市の条例が係わってくるものなので条例改正も考慮しなければならず、利用競技項目の中の未復旧表記については検討させて頂きたい。

議長 その他何かありますか。

委員D 施設の有無だけでなく、もう少し細かく、例えばグラウンドゴルフ場が何面あるとかそういった数の表記はしないのか。

議長 数の表記が出来れば考えてほしいということ。

委員C 岩舟総合運動公園、管理は別な部分になるかと思うが運動公園が表記されるのであれば遊々館というところにジムがあるが、ジムは入らないのか。

議長 表題は屋外施設となっているが。

課長 屋内施設という括りだと体育館や武道館が該当します。しかし、遊々館はジムがあるからスポーツ施設かと言われると疑問です。

議長 大平地域にも入浴、ジム、集団検診可という似たような施設がある。

事務局 公共のスポーツ施設を細かく紹介している。スポーツ施設に限定しているため、例えばジムのある福祉施設、卓球台のある公民館の一室、健康増進のための機械器具が置いてある部屋等は省かれています。

議長 スポーツ施設ではないのでここから除かれているという回答でよろしいか。

委員A 健康にかかわる部分で運動が出来る施設、挙げ出すときりが無くなるがマスタープランに表記の検討して貰っても良い気がする。栃木市全体のスポーツと健康施策をやりましょうとスポーツマスタープランに書いてあるので。

議長 では、今後の課題ということにしますか。

委員C スポーツは運動するだけがスポーツではない。芸術だってスポーツたりうる。現在はEスポーツというものも出てきている。市民にとっては運動できる施設は、福祉施設もスポーツ施設も隔たりがないのでどんどん運動が出来る施設を紹介して貰えるといいのかなと思う。

課長 検討していきたい。

委員F 個人的な意見で申し訳ないが、硬式野球ができるところが無いかと探した経緯が過去にあった野球だけの記載では硬式と軟式で使えるところがわからない。その辺の記載があると良い。

現在は栃木の運動公園しかない。硬式野球の試合ではなく練習できる場所も増やして欲しい。

委員G 大柿西運動広場は放置状態でなにも出来ない状態になっているのでは。

課長 大柿西運動広場については、昨年イノシシに荒らされていて、地域の担当にも相談され実際の現場も見ている。荒らされる前の利用頻度も多くないと聞いているのでストック計画の中で廃止等を考えていきたい。

委員A プラン策定時と今回の改定時の流れが大切。増えた、減ったとか、削除と言ったところは残した方がいいと思う。各年をグラフなど見える化して右肩上がりなのか逆なのかなど今後を考えるのに必要だと思う。

委員E ターゲットバードゴルフのチーム数ですが昨年度で1つ増えているので、記載をお願いしたい。

委員F スポーツ少年団の状況なども各年における推移表記をお願いしたい。

事務局 各年度の推移の表記について、今から各年を調査するのは時間がかかり過ぎるということもあり、経緯ではなくあくまで前回と今回という比較でお願いしたい。

委員C 市民意識からの課題の中でスポーツボランティア参加が入っているが、その指導者の養成、ボランティア育成というようなもの、そういったものの計画は立っていないのか。

事務局 次回の審議会でご審議いただく施策と目標を決める中で反映させていく予定である。

(2) その他

委員B 資料で新聞掲載記事があり、活躍するスポーツ選手の名前と競技が載っているが、期待できる選手もおり栃木市の新たなオリンピック選手の出現と活躍を期待したい。

議長 近くオリンピックの半田百合子氏の講演会があるが、その後続く若い方がオリンピックメダルを取れることを期待します。本日、見直してもらった部分の内容は終わったが折角の機会なので何かあれば発言して頂きたい。

委員H 若い選手から練習したいが練習の環境が良くないという話を耳にしたことがある。選手が練習できるしっかりした環境整備が必要である。

委員I 最近の体育館はどこも冷房が入っている、直近であった栃木市総合体育館を使った大会では、暑さ対策として市内の高校から大きなファンを借りて実施した。また、とちぎ国体の前の年にリハーサル大会として国体同様にやるわけだが、この全国から選手が集まる大会を前にして市として暑さ対策をどう考えているのか。

部長 所管課に確認します。

委員A 指定管理者では小さな問題であれば業者が対策を取るが、本件のような大規模なものは栃木市が主体となってやらなければならない。

議長 総合体育館のトイレは綺麗になったようだが。

委員J 公共施設で古い施設だとシャワートイレ、ウォシュレットはほとんど見掛けなかった。改修する場合、そういう設備も必要ではないだろうか。

部長 多目的トイレにはウォシュレットは付いている。

委員J 今の子ども達は洋式トイレでウォシュレットが付いてないと使わなかったり、高齢者でもトイレを選んで使用しているような節がある。

議長 今回の栃木市総合体育館のトイレ改修は、和式を洋式にするというのが目的だったので希望のウォシュレットの設置まではみていなかったと思う。

委員D 少し違う話になるが、昨日、7月30日に部屋小学校へ藤岡公民館と藤岡スポーツ振興係に来て頂き、カヌー・カヤック教室を実施した。子ども達も大変喜んだので、この場でお礼を言いたい。また来年度以降もカヌー・カヤック教室を続けて頂きたい。

議長 他には何か。事務局からは。

事務局 市のスポーツ関連新聞記事等をまとめたものに目を通して頂ければと思います。若くして国際レベル、大きな大会で活躍している選手の記事が増えています。委員の皆様も見守って応援していただきたい。

最後に。次回の審議会は10月でスポーツ連携室が同席の予定です。

以上 午後3時終了。